

5 森林・森林づくりに関する意識について

担当部課：水産林務部総務課
(011-204-5458/内線 28-154)

◆調査の目的

「北海道森林づくり基本計画」の見直しにあたり、森林の機能や森林づくりに関する取組などについての課題を把握するとともに、今後の計画改定に当たっての基礎資料等に役立てるため。

◆各設問の主な調査結果

問1 森林に期待する働き（複数回答）

- ①山崩れや洪水などの災害の防止や津波被害を軽減する働き（60.1%）
- ②二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止する働き（58.0%）
- ③貴重な野生動植物の生息の場としての働き（44.4%）

問2 森林づくりに関わる費用負担のあり方

- ①所有者が、既存の助成制度を活用しながら、費用の一部を負担すべき（71.6%）
- ②国や自治体が全額負担し、所有者の費用負担をなくすべき（20.0%）
- ③所有者が全額負担すべき（3.8%）

問3 道産木材と木製品の利用促進のため、今後どのような利用に期待するか（複数回答）

- ①木材が使われてこなかった分野への新たな製品・用途の開発（59.3%）
- ②個人の住宅での利用（56.8%）
- ③机やコピー用紙など、身近な商品での利用（38.5%）

問4 道産木材や木製品の利用が広がることによる効果の期待について（複数回答）

- ①植樹や間伐などの森林の手入れが進むことにより、森林の持つ様々な機能が強化される（62.6%）
- ②北海道経済が活性化する（32.6%）
- ③木材の利用により二酸化炭素の排出量が縮減され、地球温暖化防止に貢献する（30.2%）

問5 森林認証制度やロゴマークの認知度

- ①ロゴマークも「森林認証」という言葉も両方知らない（82.8%）
- ②ロゴマークを見たことはないが、「森林認証」という言葉を聞いたことはある（7.8%）
- ③ロゴマークを見たことがあるが、「森林認証」という言葉を聞いたことはない（4.5%）



問6 「木育（もくいく）」という言葉の認知度

- ①知らない（59.5%）
- ②聞いたことはあるが、内容はよく知らない（31.2%）
- ③聞いたことがあり、内容もある程度知っている（8.6%）

問7 参加してみたい木育活動（複数回答）

- ①森林散策や森林浴（40.6%）
- ②植樹（33.0%）
- ③木育活動への参加は特に考えていない（22.4%）